

令和元年度 品川区総合戦略推進委員会  
議事概要

日時：令和元年11月11日（月）10:00～11:30

場所：品川区役所 第二庁舎5階 251会議室

<議事次第>

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長挨拶

■委員長

- ・お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。総合戦略は5年間の計画であり、後期に入ってきた。今までの推進委員会での意見も蓄積されてきている。最後の細かい詰めを含めた意見を交換できればと思っている。

4. 委員会運営について

- \*事務局より、資料2（品川区総合戦略推進委員会公開基準）について説明。

■委員長

- ・公開基準の第1条において、委員会は原則公開とするが、委員長が認めた場合は非公開とすることができる。となっている。非公開にする事情は認められないため、公開することによろしいか。

■委員

- ・異議なし

5. 品川区総合戦略の取組状況について

- \*事務局より、資料3（品川区総合戦略の取組状況について）について説明。

■委員長

- ・平成30年度の評価検証に入りたい。今の説明内容、配付資料について、質問、意見等があればご発言いただきたい。

■委員

- ・総合戦略に掲げるKPIの数値について、その多くは絶対数的なものであり、それはそれでいいと思う。中にはパーセンテージで示すものもあるが、その場合は母集団の数を併せて示すとわかりやすいと思う。
- ・例えば、全体計画「しながわネウボラネットワークの構築」のKPI「妊娠届出時面接人数」について、経産婦の方は面接に来られにくいという事務局の説明が

あったが、その場合、初めて妊娠された方がどの程度の人数で、そのうち何%ぐらいの人が面接したかというところがわかるとよい。面接人数4,400人という絶対数的な目標数値と併せて、経産婦の方を除いたときの面接率がわかるとよい。

- ・母集団に対する達成率を示すことでわかりやすくなる指標もある。
- ・K P Iについて、次期総合戦略の策定に向けて検討を始める段階だと思うので、大きなレベルのアウトカムで、現状と5年後の姿が見える仕組みを構築できると事業の効果測定ができる。
- ・現状の総合戦略をベースに、アウトプットとアウトカムの違いを改めて考えた上で、K P Iを見直すと事業の精度も上がるのではないか。
- ・全体計画「すまいるスクールの充実」のK P I「地域ボランティア登録者数」について、前年度より減少している理由を説明いただきたい。

#### ■事務局

- ・すまいるスクールは、放課後の全児童対策事業ということで、学校の中で様々な講座や学習、外遊びなどを行っている事業である。K P Iに掲げる「地域ボランティア登録者数」は、地域の方やボランティアの方に、すまいるスクールの講師になっていただき、例えばフラワーアレンジメントなどを教えていただいている。
- ・「地域ボランティア登録者数」が減少となった理由としては、登録をしたものの活動に至っていないケースなどについて、所管側で整理したため。

#### ■委員

- ・K P Iを変える場合は、アウトプットとアウトカムの関係が見えやすいものにするべき。そうすると、「このK P Iは事業ベースで伸びているが、実際には効果につながっていない」など検証が可能となり、活動の選択ができる。

#### ■委員長

- ・K P Iの設定にあたって、ベースラインの調整をしっかりとやったほうがいいという意見は、以前の委員会から継続して出ている。
- ・例えば、世論調査を活用した「定住を希望する理由として子どもを育てやすいと回答する区民の割合」という指標があるが、これは子どもを育てやすいか、育てにくいかを直接尋ねるアンケートではない。品川区に住む理由がいくつかあり、そのうちどれを取るかという話なので、単純に数値の高下で判断することができない指標になってしまっている。
- ・総合戦略は重点化戦略であり、今後、品川区あるいは東京都がどういうところを中心にやっていくかについては、重視するポイントはあらかじめわかっている。そのため、どのポイントを選択するかということの調査ではなくて、そのポイント自体をどう評価するのかを直接調べる調査に変えないといけない。
- ・ただ、世論調査自体は継続性も必要なので、内容を変えることがいかにどうかという点にも注意が必要である。もし予算的にそれほど負担がなく、重点政策だけをきっちり聞けるようなベースラインの調査を新しく実施できるのであれば、K

P I の見直しと併せて検討いただけたらよいと思う。

■委員

- ・ベースラインの調査は大規模ではなく、パイロット的で良いと思う。網羅的に行うのではなく、アトランダムでよい。P D C A サイクルの際にも説得力が増す。

■委員

- ・K P I について、既に計画最終年度の目標数値を達成しているものがある。企業では掲げた目標を2回か3回位連続で達成すると、目標の変更を検討する指示が出て、そこで改めて当該事業の最も重要な点について議論することになる。
- ・全体計画「中小企業ワーク・ライフ・バランス推進支援の充実」のK P I 「配偶者出産休暇制度を導入した企業数」について、当該事業を廃止したという事務局の説明があったが、そうすると翌年度の目標値を設定しているのはおかしい。

■委員長

- ・企業がK P I を修正する際は、目標を達成したから単純に数値を上げようという話になるのか、それとも違う指標をつくろうという話になるのか、御教示いただければありがたい。

■委員

- ・指標・目標数値の設定理由を改めて考える。目標を達成できた場合には、さらに高い数値を掲げるべきか検討する。また、目標の達成が難しい場合は、維持すべき項目の洗い出しなどにより、その数値を決める違う要素のK P I を設定するか、全く新しい指標を設定するか検討する。

■委員長

- ・より細かいところまで調査するというケースもあり得ると理解して良いか。

■委員

- ・その通り。一定程度、K P I を維持できているものでも、その中で変動しているところに着眼し、それを維持するために、もしくは上げるために、K P I を変えることもある。

■委員長

- ・その意思決定について、例えばこの総合戦略だと長期計画の縛りがあったり、その上の基本構想などの縛りがあったり、それから横に出ている高齢化や少子化に関わる審議会などもあって、どこで意思決定するかは難しいと思うが、企業ではどうか。

■委員

・企業は数字がベースなので、その数字を達成できる部門はどこかという話になる。

■委員長

・所管がはっきり決まっていて、その権限でできるということか。

■委員

・その通り。企業は数字を維持して上げていけばよいので、数字に変動がない場合は、改善に向けてどうするのかという話になる。

■委員長

・そのあたりについて、区としてはいかがか。

■事務局

・総合戦略という性質上、区の戦略・考え方ということで取りまとめて示しているが、各部署が与えられた予算の中でそれぞれ計画を立てており、また大もとの大きな行政的な流れがある中で、簡単に来年これを変えようという話だけでは済まないところもある。一方で各部署の発想だけで決めるというのは、全体の予算をコントロールしなくてはならない観点からも難しい。それぞれに調整しながら最終的には決定するという、丁寧なステップを踏む必要があると考える。

■委員

・例えば全体計画「体力向上事業の推進」のK P Iなどは比較的簡単に変更できると思った。今は「体力向上事業実施校数」を指標にしているが、本事業の目的は体力の向上であり、この指標では事業の成果を測ることができない。

■委員長

・K P Iの見直し等の見せ方をどうするか。見せ方は単に見栄えの問題ではなくて、メッセージの発し方の問題だろうと思う。事業を評価して、これは不十分なので今後こうする、検討しているというところまで踏み込んでどこかで書いておかないと、問題があるという感想を持っている。そこが少しオープンになれば、それだけでも随分品川区に対する区民の見方は変わるのではないか。

■事務局

・数字による目標の出し方というのは、今回、区としても初めての試みであり、計画期間中の指標の変え方や、対外的な示し方は、現在策定を進めている新しい長期計画、総合実施計画の中でも検討すべき事項であり、次のステップの中ではスムーズな仕組みを考えていきたい。

■委員

・創業支援の関係で、五反田バレーが話題になっており、五反田がネット関係のベ

ンチャービジネスのたまり場になっていると聞く。行政としては、さらに活性化させ、ベンチャー企業に来てもらうような仕掛けをしているのか。

■事務局

・今後の話だが、五反田バレーという名前もようやく認知されつつあるので、大きく打ち出していこうと考えている。政策としても重点化させて進めている。

■委員

・合計特殊出生率が伸び悩む理由として考えられることは何か。

■事務局

・人口が増えて母数が増えていることも影響していると思う。結局全体に対しての出生率なので。

■委員

・年齢層をいろいろと輪切りにして調べ、もっと現実的な数値が出せれば、説得力のある見せ方ができると思う。

■委員長

・おそらく出生率に関しては、品川区に限らず、都市部が全体的に低いという問題も絡む。人口規模など同じレベルの自治体と比べるなどのやり方もあるのかもかもしれないが、他方で国からの戦略として重視されてきている指標という意味もあるので、悩ましい。

■委員

・品川区に転入する方の年齢層は、若い人が多いと聞くが、結婚前の方や学生が多いのか。

■事務局

・人口層で最も動きが多いのは単身の若者、40歳より年の若い世代である。この層は転入も多く、転出も多い。ここの動きがものすごく、万単位で大きく動く。それでいながら人口が増えているのは、そういう形も含めて、ファミリー層ももちろん入ってくるが、その辺のボリュームが増えているというのがある。

■委員

・そういった影響を除いた場合の人口動向が見られるといい。人口の増減で評価がされる部分もある。数値の精度を上げて、打ち出し方を工夫すれば、売りになる見せ方ができると思う。

■委員長

・企業では人口動態など意識されていると思うが。

■委員

・弊社では世帯数を意識する。区に何世帯があり、そのうちどれだけを占めているかというのが重要な指標になる。

■委員

・直近の人口推計では、今後も相当人口が伸びるという結果だった。主な理由としては高層マンションの建設が挙げられるのか。

■事務局

・今後10年ぐらいいは開発が続くと見込まれ住む場所が増えるということ、それと都心回帰もあいまって今後も増えるという推計になっている。

■委員長

・シティプロモーションに関する指標について。これまでの推進委員会の中で、ツイッター等での発信の際、ハッシュタグでshinagawaと付けるべきというようなご意見があった。ツイッター等を見てみると、実際に#shinagawaと付けられた発信が少ない。観光協会はときどきつけているが、品川区はつけていなくて、FMしながわ、ケーブルテレビもあまりつけていない。ハッシュタグをつけて何かやればそれでいいという話ではないと思うが、何か一貫した基準をもって発信を続けていかないと効果が上がりにくいのではないか。発信は観光案内所関係の数値だけで測り切れるものではなく、そこをあらためて考え直さないと認知度が上がってこないのではないかと考えている。

■委員

・観光協会に訪ねる人より、ネットを見て調べる方が多い。外国人だと特に。したがって、ホームページの多言語化を充実させて、閲覧数等を計測すべき。

■委員長

・観光案内所のパンフレットはダウンロードできるようになっているのか。

■事務局

・パンフレットは基本的にはインターネットで閲覧できるはずだが、すべてをアップしているかはわかりかねる。

■委員長

・例えば観光協会のツイッターを見ると、今ちょうど目黒川のイルミネーション、桜のプロムナードなどが紹介されているが、こういったものは外国の方にも好まれると思う。ただ、#shinagawaがついていないと、検索しても出てこ

ないためもったいない。

- ・各部署の業務の都合上問題がないのであれば、区も観光協会も含めていくつかのツイッターだけでも統一して#shinagawaをつけておいたほうがよいと思う。

#### ■委員

- ・空き家の有効活用について。子ども育成課などでフリースペースのプロジェクトが動いていると思うが、それらと連携して効果的に進めるべき。福祉関係や子ども育成課などとの横のつながり、横串を刺す視点をもって進めてはどうか。

#### ■事務局

- ・空き家に関してはご指摘のとおり、組織横断的に検討している。この事業は、持ち主の意向と施策がマッチしないと進まないのが難しいところ。これまでも使用期間の制限、耐震補強など安全面での課題等、条件面での折り合いがつかず実施できていない。

#### ■委員

- ・組織の横串を通す際は、企画部門が中心にならないと組織は動かないのか。

#### ■事務局

- ・事業を始める最初のところは企画など全庁を回す部署が入るが、この空き家対策は庁内での認知も進んでいるので、所管課が各部署に声をかけて動いている。

#### ■委員

- ・組織横断的に進めた事業は行政として非常に評価が高い。企画部門がしっかりしていると思われる。職員のやる気につながるような指標をつくれなにか。

#### ■委員長

- ・事務事業ごとに区切ってKPIを出しているが、例えば今話に出た複合プロジェクト数をKPIに設定すれば、所管課を超えたKPIが取れるということになる。

#### ■委員

- ・今後はそういった指標が評価の対象になる。例えば小学校の建て替えでも、先を見据えると複合施設にしないといけない。10年後には子どもは減り、高齢者は増えるので、ソフトの面では、高齢者、児童、それぞれの担当課が連携しなくてはならない。
- ・組織連携を評価するKPIを掲げると、やりがいと責任感が生まれると思う。

#### ■委員長

- ・ご質問、ご意見、まだあるかもしれないが、重要なところはかなりお話しただ

いたので、意見交換はこの辺で終了する。

- ・ K P I を今後どうしていくかということについてのまとめ、その K P I を公開していくに際してのわかりやすい公開の仕方、それからそれをどうやってスピード感を持って進めていくかということについてのご意見が多かったと思うので、そうしたあたりを中心に区政を進めていっていただきたい。
- ・ 本日の会議で各委員から指摘された点については、所管課においても取組内容の見直しや改善を進めていただきたい。それから K P I の達成、あるいは K P I の見直しに向けて、さらに力を尽くしていただければありがたい。

## 6. 今後のスケジュール等について

### ■事務局

- ・ 本日の会議資料については、ホームページに掲載する。
- ・ 議事概要案を作成の上、後日、各委員の皆様にご確認いただいた上で、ホームページに掲載する。

## 7. 閉会

### ■委員長

- ・ 以上をもって本日の委員会を終了する。

—以 上—